

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入後、PDF ファイルを作成。

学校名	岐阜大学	個人・グループ名	棚橋美保	作品名	キラキラ時計
-----	------	----------	------	-----	--------

環境に配慮したものづくりというテーマで、使わなくなった物、使えなくなった物を利用した教材開発を行った。そこで、今回は不要となった CD を材料とし、その形、色などを利用して生活の中で使えるオリジナル時計の製作を考えた。この作品の製作では、使わなくなった物が形を変えて新たに生活の中で利用できる喜びと、物の大切さを感じて欲しいという願いをもって開発を進めた。

～材料～

- ・ 不要となった CD
- ・ ゼムクリップ
- ・ ボンド
- ・ 時計の機械
- ・ 時計の針

文字盤は不要となった CD の裏面を使い、そこにゼムクリップで文字を描いた。文字の製作にはラジオペンチのみを使用してあるので、小学生でも簡単につくることができる。今回はカラーのゼムクリップを使って、見やすさを考えるとともに、可愛らしく作ってみた。文字盤の文字の位置は、12分割した専用の紙を作成し、正しい時間を針が指すようにして決めた。この紙は文字盤の中心に設置して使用する。

時計の機械と針は、100 円均一で販売しているものを利用し、コストがかからないようにした。針など種類がたくさんあるので、いろいろ組み合わせてみてもおもしろい。また、今回は市販のものを使用したけど、作成してみても面白いとおもしろいと思う。ただし、文字盤がキラキラしているので、針は黒などはっきりした色のものを使用しないと、遠くから見えないので注意が必要である。接着の際、木工用ボンドを使用したけど、ゼムクリップからあまりはみ出ないように接着するときれいである。

市販の時計の機械は壁掛け用になっているが、文字盤が小さいためペットボトルなどを使って置時計にしてもよいと思う。簡単に作れるので、小学生からのものづくりにおすすめである。

